



265号

2022年

11月7日

発行所 岡山大学職員組合

〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1

電話 086-252-1111 (代)

7168 (内線)

直通 TEL&amp;FAX 086-252-4148

ホームページ <https://odunion.jp>メールアドレス [ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp](mailto:ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp)

目次 1…学長候補者から回答 2~3…学長候補者への質問書 4…お知らせ 学長候補者からの回答添付

## 学長候補者から回答

### 本号に一挙掲載

職員組合は、今回の学長選考が、公正で質の高いものとなり、それを機に、大学がより良いものとなるよう、学長候補者への質問状を作成しました。各候補者に質問状への回答をお願いしたところ、快く回答してくださいましたので、組合だよりを通して職員の皆様にお届けします。意向調査に行く前に、また意向調査に参加できない人も、各候補の回答を読み比べていただければと思います。

なお、各候補の回答は、組合ホームページ内特設サイト「岡山大学学長選 2022」にも掲載しています（期間限定）。その他にも、学長選に関わる情報を掲載していますので、どうぞご覧ください。

<https://odunion.jp/election2022/>

11月14日（月）～16日（水）：意向調査の実施

意向調査に行こう！

11月21日（月）：学長選考会議で審議決定

## 岡山大学の次期学長に、あなたはどのようなことを望まれますか？

現在岡山大学の次期学長の選考が行われています。次の6年間（4年プラス再任で2年）の岡山大学の方向性が決まる大事な選考です。大学は教育・研究を通じて、地域への貢献、社会への貢献、世界への貢献、人類への貢献を目指す場所です。あなたは、岡山大学にどのようなことを望まれますか？それを実現するために、次期学長にはどのようなことを望まれますか？

岡山大学の学長は学内だけではなく、学外にも影響を及ぼす存在です。その次期学長に何を望むのか、岡山大学職員組合では、学内教職員だけではなく、岡山大学に在学中の学生の方々、岡山大学の卒業生の方々、これから岡山大学を受験しようかと考えていらっしゃるの方々、岡山大学と関連する企業の方々、岡山の地域のみならず、広く学外の方からもご意見をいただきたいと思ってインターネット(GoogleForm)を使ったアンケートを実施することにいたしました。是非、ご意見をお願いいたします。

アンケート実施期間：11/7～11/18

「次期学長に望むことアンケート」は、こちらから



## 学長候補者への質問書

皆さまの学長選への出馬に敬意を表します。岡山大学職員組合は、従来から、次期学長についての意向調査の参考にして頂こうと、学長候補者に質問書を送付し回答をお願いしてきました。回答結果は組合だよりに掲載し、全構成員に配布するとともに岡山大学職員組合のホームページで公開する予定です。以下の質問にお答えいただくようお願いいたします。

- 1 自分が学長に相応しいと考える理由は何ですか。学内行政の実績等踏まえお答え下さい。
- 2 岡山大学をどういう大学にしたいとお考えですか。学長になって取り組みたい課題は何ですか。優先順位をつけ3つまでお答え下さい。
- 3 日本の研究力低下が最近非常に目立っていますが、国の「選択と集中」の方針は変わっていません。しかし、過度な「選択と集中」はかえって研究力をそぐという意見を持つ研究者は少なくありません。岡山大学の研究における「選択と集中」についてどのように考えていらっしゃいますか。
- 4 岡山大学は従来から研究大学を目指していますが、国際卓越研究大学には応募する予定はないと聞いております。応募するかどうかについてどのようにお考えですか？
- 5 現在の政府は、大学改革を打ち出し、リーダーシップを強化するガバナンス改革を強要しました。これによりボトムアップによる意見が執行部に届かなくなっていると組合では考えています。ボトムアップによる意見を取り上げる仕組みについて、お考えをお聞かせ下さい。
- 6 槇野体制では早々とSDGs推進を全面に出してきました。このことは対外的にも一定の評価を得ている一方、ニュースになりそうなことばかり先行して地道な活動が疎かになっているとの声もあります。学長に就任された場合、この方針を継続されるご予定ですか？
- 7 本学のダイバーシティ&インクルージョンに関して、具体的にどのように取り組んでいかれるご予定ですか？
- 8 岡山大学職員組合が実施した槇野体制評価アンケート調査によれば、槇野体制のもとで行われた諸施策のうち評価できないという回答が多かったのは、大学ガバナンス機能強化（学長選改革、教教分離、教員人事改革を含む）、学長の強いリーダーシップの下での教育研究組織改革、教育の実施体制（教職員配置、教育環境など）です。自由記述でも人事に関する批判意見や学長のリーダーシップに関する批判意見が見られます。今後どのようなスタンスでこの課題に取り組まれるおつもりですか？
- 9 岡山大学職員組合が実施した槇野体制評価アンケート調査によれば、槇野体制のもとで行われた諸施策のうち評価できるという回答が多かったのは産学官体制構築、大学発ベンチャーへの支援等による知の還元、外部研究資金、寄付金その他の自己収入増加です。今後どのようなスタンスでこれらの課題に取り組まれるおつもりですか？
- 10 防衛装備庁による安全保障技術研究推進制度については軍事研究にあたる、あるいはつながることを危惧する意見があり、応募を認めない大学もあります。その中で岡山大学は応募を認めています。軍事研究に大学としてどう関わるべきなのか、ご意見をお聞かせ下さい。また、防衛装備庁による安全保障技術研究推進制度による研究が軍事研究につながる可能性があるかどうかについてのご意見をお聞かせ下さい。

(3 ページに続く)

(2 ページから続く)

- 1 1 現在岡山大学ではDX 担当理事をおき、DX を進めているところですが、今後、DX については具体的にどのように取り組んでいかれるおつもりかお聞かせ下さい。
- 1 2 岡山大学職員組合には教職員の雇用環境・労働環境についてさまざまな相談が持ち込まれていますが、現在の岡山大学の教職員の雇用環境・労働環境についてどのような認識を持っていますか。岡山大学職員組合としては非常勤職員の比率が高い現状について危惧を感じていますが、特にこの点についてのご意見を教えてください。

## 10/21 学長候補公開ヒアリングの録画とその公開に関する申入書を提出しました

岡山大学職員組合では、学長選考の公開ヒアリングを大学構成員のみなさまに聞いていただくべきだと考え、以下の申入書を学長選考会議に対して提出していました。

学長選考会議 御中

岡山大学職員組合  
執行委員長 荻野勝

### 学長候補公開ヒアリングの録画とその公開に関する申入書

次期学長の選考を行っておられる学長選考会議のみなさまに敬意を表します。

さて、11月2日に学長候補に対する公開ヒアリングが予定されています。学長によって岡山大学教職員の労働環境は大きく変化する可能性があるため、岡山大学職員組合は、次期学長選考に大きな関心を持っています。特に公開ヒアリングは岡山大学の構成員が学長候補の考えを知る重要な機会であると考えています。しかし業務多忙の折、大学の構成員すべてが11月2日の公開ヒアリングに足を運べるわけではありません。

そこで、岡山大学職員組合は学長選考会議に対し、11月2日の公開ヒアリングを録画し、それを誰でもが見ることができるように公開することを申し入れます。

記

1. 2022年11月2日に開催される学長候補への公開ヒアリングを録画し、それを意向調査が開始される11月14日より前から、少なくとも11月16日までの間、動画サイト(例えばYouTube等)にて公開すること。

以上

令和4年10月27日 学長選考・監察会議にて下記のとおり決定されました。

「本公開ヒアリングは、本学教職員に対して公開でおこなうものとし、その動画を、岡山大学学長適任者の決定までの間、岡山大学学内教職員専用ホームページ (URL/ [https://pxy-admcms1.a.okayama-u.ac.jp/staff\\_only/](https://pxy-admcms1.a.okayama-u.ac.jp/staff_only/)) にて公開するものとする。」



あなたも組合の仲間になりませんか？

教員の方も、事務職員の方も、パートの方も組合に入ることができます。  
加入申し込みは、各単組役員、もしくは右のQRコードからどうぞ。  
メールは、ODUnion@mb4.seikyounet.jpまで。



教職員の給与・労働条件は、労使交渉で決まります！  
一人でも多くの皆様が加入していただくことで、労使交渉における組合の発言力は大きくなり、よりよい労働条件を実現していくことができます。

**主な活動** 団体交渉、学長懇談会研究科長・各部長・病院長と交渉、講演会、学習会の開催、レクリエーション活動、コーラスサークルなど



学長懇談会



団体交渉



学習会



フラワーアレンジメント講習会